

## 第 4 回天王台南地区課題別地域会議（高齢者ケア）記録

1 開催日時 平成 28 年 10 月 29 日（土）13 時 30 分～16 時 00 分

2 場 所 近隣センターこもれび 会議室 1

### 3 参加者

#### (1) 高齢者ケア分科会委員

天王台高齢者なんでも相談室室長、第 3 地区民生委員・児童委員協議会 副会長・委員 2 名、ひなぎくの会代表、天王台南ふれあいサロン代表、SG（シニアグループ）会長、我孫子市天王台自治会会長、東我孫子区自治会副会長、東高野山自治会協力委員、藤和天王台ハイタウン自治会前会長

#### (2) 我孫子市

市民活動支援課 課長補佐、主任、高齢者支援課 主任

#### (3) 天王台南地区地域会議推進委員会

副委員長、高齢者ケア分科会座長、事務局員（事務局長・2 分科会座長兼任）  
子ども健全育成分科会座長、防災防犯分科会座長、広報担当

### 4 議 事

#### (1) 司会者挨拶（副委員長）概要

今回地域会議は、身のある会議にするために高齢者の活動に関わっている皆様に集まって頂き開催することにしました。

高齢化について、先日敬老の日に総務省が日本の人口推計を発表しましたが、1 億 2,693 万人で前年より 18 万人、0.14%減少しているそうです。その中で 65 歳以上が 3,461 万人、高齢化率 27.3%で過去最高の数値で前年より 73 万人、0.6%の増、男性が 1,499 万人、24.3%、女性が 1,962 万人、30.1%で、80 歳以上は 12 人に 1 人、我孫子では 9 月 1 日現在 38,090 人、28.7%、65 歳以上が高齢者で良いのかと新聞に乗っていました。厚生省のアンケート調査では 70 歳以上を高齢者が良いが 41%、75 歳以上が 16%、65 歳以上が 20.2%、1950 年台の国連報告書で 65 歳以上が高齢者と定義づけられたそうですが、平均寿命、健康年齢が上がってきており、議論になっているようです。団塊の世代が 2025 年に後期高齢者になる。どう対応していくか話し合いをしたいと思います。

#### (2) 市民活動支援課課長補佐挨拶概要

平成 25 年に地域コミュニティ活性化基本方針を策定しました。その背景に高度成長から皆さんの生活スタイルや価値観が多様化し、地域の繋がりが薄れ、孤独死、虐待、空き巣などの新たな問題が発生してきました。このため、地域の繋がりを強めコミュニティを取り戻そうと基本方針を定めました。20 名の市民の方に参加いただき市民目線の方針だと思っています。地域会議は課題の意見交換の場であり、成果を求めるものではありません。

種々の団体に関わって頂き課題・情報を共有することで住みよいまちづくりにつながれば

と思います。現在市内 4 箇所で地域会議を開催しています。

天王台南地区では、すでに環境問題、防災問題で地域会議を開催しました。今回は高齢者問題で初めての方がお見えになっておられますが、皆さんが知り合いになって頂き、知恵を出していただきたい。共助の部分を強めていただければと思います。もちろん市はできる限りの協力をしていきます。

### (3) 講 演

#### 「我孫子市の高齢化の現状と今後の生活支援対策について」

講師 我孫子市高齢者支援課 主任

#### ○我孫子市の高齢者の状況(平成 28 年 10 月 1 日現在)

人口：132,605 人

65 歳以上：38,153 人 高齢化率 28.8% 独居率 21.0%

75 歳以上：17,438 人

要介護（要支援）認定者数 5,538 人

うち、要介護 4,102 人

要介護 1 1,311 人

2 968 人

3 666 人

4 687 人

5 470 人

要支援 1,436 人

要支援 1 808 人

2 628 人

※平成 37 年（2025 年）見込 8,362 人

#### ○我孫子市計画の基本理念と 2025 年を目指す姿

- ・「住み慣れた地域で安心して暮らせる」を誰でもが実現できる「しくみ」を創造していく。
- ・地域包括ケアシステムの実現と確立を目指す。

#### ○第 6 期（平成 27 年度～29 年度）計画の重点施策

- 1 介護予防の推進
- 2 日常生活支援サービスの柔術
- 3 認知症施策の推進
- 4 高齢者なんでも相談室の機能充実
- 5 在宅医療・介護連携の推進
- 6 在宅介護サービスの充実
- 7 施設介護サービスの充実

## ○既存のサービスの活用

平成 28 年 4 月の総合事業移行後も、今まで行っていた市のサービスは、今までどうり継続して実施する。

### 既存のサービス

- ① お元気コール
- ② 独居者訪問
- ③ 配食サービス
- ④ 地域高齢者安心ネットワーク
- ⑤ SOS ネットワーク
- ⑥ 徘徊探知システム
- ⑦ 家庭介護教室
- ⑧ 介護者訪問事業
- ⑨ 認知症の方の家族の集い
- ⑩ きらめきデイサービス
- ⑪ 緊急通報システム
- ⑫ 軽度生活援助
- ⑬ 高齢者移送サービス
- ⑭ ゴミ出し支援ふれあい収集

## ○地域での取り組み

地域交流の場、気楽に集える場の開設や運動のできる場づくり、生活支援、地域での見守り活動等

### <質疑>

(委員) サービスのことより、市の財政が心配

(講師) 財源は介護保険の枠の中です。

(委員) 希望しないと受けられないサービスですか？

(講師) そうです。

(委員) 希望してもできるものとできないものがあり、軽度生活援助は非課税世帯が対象、緊急通報システムは緊急性のある方が対象です。

(委員) 安否確認のサービスは、希望しなければその人がどうなっているか解らない？

(講師) 独居者訪問と介護者訪問事業は市のデータに基づき対象者を決めますので希望ではない。

(委員) お元気コールは？

(講師) 希望もありますが。安否確認ですので、支援する側から申請をして貰うことになります。

(委員) お元気コールは介護認定を受けないとだめですか？

本人が希望すればできる？

(講師) それぞれのサービスに対象条件があり、市の方で判定します。

(委員) 本人が出向いて確認してもらうの？

(委員) 民生委員から情報をあげます。

(委員) 面接はなんでも相談室が行います。お元気コールが必要と思われる場合は、なんでも相談室に声掛けしてもらえば。自宅に出向いて面接し、必要と思われる場合は市に上げ通れば開始になる。

(講師) なんでも相談室が訪問して面談するのが、お元気コール、配食サービス、徘徊探知システム、緊急通報システム、軽度生活援助です。

(委員) 我孫子市に在宅医療を行うお医者さん・看護師さんはどの位あるのですか？

(講師) 在宅医療専門はなく、往診を行ってくれる先生もチラホラで少ないです。我孫子市には在宅医療推進 協議会があり、その先生と何ができるか相談している状況にあります。

(委員) 配食サービスを自分で取っていても、食べきれないと言って2回・3回に分けて食べていて栄養失調と言われた高齢者がいる。1食分の栄養を2回・3回に分ければ栄養不足になる。高カロリー等食べやすい工夫が必要。食べられないという方が多い。

(講師) 1食で栄養を考えてあり、食べきれないからと言って何回かに分けたり、夫婦で分けたりすると必要な栄養が取れないので、行ってはいけない事になっている。

(座長) 毎月何回くらい配食していますか？

(委員) 毎日で市の方は400円でやっているが、その他に業者さんがある。700円もある。

(座長) 毎日ですか、土日関係なく？

(委員) 希望で毎日、31日・1日はありません。

(座長) 市内全域どこでも大丈夫ですか？

(講師) そうです。

(委員) 基本目標の6項目の中で一番問題になるのは財政で、財政が手一杯でこれすらやりきれなくなってくるのではと思う。基本施策が本当にできるだろうか？その中で重点施策の2の日常生活支援サービスの充実のボランティアの基盤の整備、資料の最後ページの「2025年を見据えて目指す姿」の中の老人クラブ、自治会、ボランティアが市としては金が一番かからない。ここを一番やってほしいところでしょう。

バラ色では行かないと思うので我々に何ができるかになる。一番最後を見ると高齢者支援課だけでなく、市民活動支援課とのお互いの協力がなければうまくいかないと思うが、どのようにお考えか聞きたい。

(課長補佐) 言われるとおりです。地域会議を活用すればという意見が多方面からあるが、すべての地域会議でこの問題を取り上げているわけではない。地域会議のスタイルは各地区に任せることにしたい。その中でこの問題が上がってきたとき担い手になると思われる。

(委員) なんでも相談室の業務が増えていく。1箇所増えるようだが、もっと増やさないと地域の活性化は難しい。

(委員) こういう話をするときは財政の話をしてほしい。

(事務局) 団塊の世代が認識を持って考えて行かないといけないと思います。

(中委員) 来年度1箇所は我孫子地区を北と南に分ける。天王台は1名増員予定。

(副委員長) 高齢者ケア分科会が何をやっていくか議論するが、この内容は市の政策であり、勉強のために説明を受けた。地域の活性化のために高齢者を如何に引き出すかがこの会議の課題。

(委員) 地域会議で出た意見などを市はどのように取扱うか聞きたい。

(講師) 高齢者支援課では、会議の報告を上司に行き、出された意見などは上司からの指示を受けチーム内で検討することになる。

(こども座長) 回答までに時間はどのくらいですか？

(講師) 急ぐものは1週間位ですが、内容によって異なります。

(事務局) 地域会議の市の窓口は市民活動支援課、市で対応が必要な事項は窓口経由になる。

(課長補佐) 市が対応すべきことは対応するが、会議の性格上何でもできるわけではないのでご理解願いたい。できることをできる範囲で、できる分野をやっていただくことが基本。

(副委員長) 今日の内容を高齢者に啓蒙をするのも課題、先日の高齢者の講座で配布資料で良い資料があった。こういう資料の活用もこの会議の課題。

(委員) 母がサロンに行って貰ってきた、なんでも相談室の資料と振り込め詐欺の資料で良い資料があったがあまり知られていない。ごみのパンフなどと併せて全戸配布をしてほしい。

## 休 憩

### (4) 活動事例紹介

## 《ふれあいサロン活動》

○藤和天王台ハイタウン前自治会長から配布資料に沿って説明があった。

## ① 藤和天王台ハイタウンの高齢者の現況

全世帯数 225世帯

内65歳以上 113世帯

独居世帯 30%

## ② 活動の状況

・「高齢者・子どもサポート会」を自治会の委員会として組織、我孫子市の「きらめきデイサービス」の指定を受け、月1回「なごみの会」開催

・「子どもとお母さんの会」開催・高齢者見守り対策として、マップ作成を行い、要支援者把握、なんでも相談室、民生委員との連携を図った。

## ③ 活動のポイント

・コンセンサスを得るまでに時間を要する。

・何かをやるときは焦ってはいけない。

・なんでも相談室・民生委員との連携が大切

・規約のポイント・・・マンション居住者に限定（自治会の要望）

## 《高齢者の見守り活動事例の資料説明》

○ 座長から説明

## ① 高齢者の見守り活動事例の概況について

前回の会議資料を手直しした資料により説明を行った。

## ② 新木野高齢者見守りネットワークの資料・・・運営委員会設置要綱等

・700世帯の自治会が2自治会 1400世帯

## ③ 南フレンドネットの資料・・・サポーター活動マニュアル等

※青山台ふれあいネットの資料はメールで上手く送れず届かなかったため、次回に配布。

## &lt;質疑&gt;

(委員) マンションの集会室の広さはどの位

(委員) 80～90m 20～30人入ると一杯になる。

(委員) 規約の提出を求められとは、何のため？

(委員) 規約があるだろうとのことで作成した。自治会総会の説明に規約が必要

(委員) きらめきデイサービスの報告書とはどんなもの

(委員) きらめきデイサービスの報告書は毎月提出が必要、これに基づき参加者1人当たり150円の補助金が交付される。

(副委員長) 東我孫子区自治会はどうですか。

(委員) 高齢者や要支援者の調査を自治会費の集金時に確認している。高齢者の心理

は見守られるのは嫌だけど実態調査だけは行ってほしいとのこと。

(委員) 私の自治会では、全員の緊急連絡先を作成し会長が保管している。各班長に渡してある。

(委員) マップを作っているが、自治会には渡していない。サポート会のもとで管理している。

(副委員長) これからどう進めていきますか。

(委員) NPO も活動しており、紹介していくのも必要、パンフの配布の話もあったが、啓蒙活動も必要。

(委員長) なんでも相談室の寂しんぼ倶楽部をサロンにできませんか？

(委員) 所有者の同意が取れない。今年の活動は門松づくりを計画している。

もう締めたが、朝日新聞が 200 万円補助で募集があった。

こういう補助を探す必要がある。

(座長) 今回の会議は、高齢者を取り巻く現状や、先進的な活動事例の勉強を主に行った。

次回からは、2025年問題を見据えた啓発活動と、高齢者ケア活動の推進の2本柱で会議を進めていきたい。

次回は、3か月後の1月28日(土)13:30からこの場所で地域会議を開催したい。

事務局で各自治会に対し高齢者問題に対するアンケート調査を行うための調査票を作成し、その内容についてご議論をお願いしたい。

(副委員長) 本日は、長時間ご苦勞様でした。また、高齢者支援課耕納主任には、ご講演有難うございました。これをもって閉会とします。

記録 事務局